

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月12日

上場会社名 株式会社ジェーシー・コムサ
 コード番号 2876 URL <http://www.jc-comsa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 隆介
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 野田 忠克
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 JQ

TEL 03-5722-7261

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,811	—	227	—	196	—	175	—
20年3月期第1四半期	3,937	△20.8	102	254.9	74	—	94	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	22.01	—
20年3月期第1四半期	11.91	11.91

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	9,433	2,026	2,026	21.4	252.98	
20年3月期	9,870	1,900	1,900	19.1	237.05	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 2,014百万円 20年3月期 1,887百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	7.00	7.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	7,700	—	230	—	190	—	120	—	15.07
通期	16,000	△2.2	440	△21.1	230	△37.5	130	△43.7	16.33

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 8,477,890株 20年3月期 8,477,890株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 516,550株 20年3月期 516,450株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 7,961,348株 20年3月期第1四半期 7,961,696株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、原油価格及び食糧資源の高騰による原材料高が続き、米国サブプライムローン問題による金融市場の混乱等によって、米国経済の景気後退や世界経済の先行き不透明感の影響から、個人消費及び設備投資は鈍化する傾向が見られ、企業業績への深刻な影響が懸念される状況となっております。

当グループの当第1四半期連結会計期間においては、引き続き「食の安全・安心」を第一に、「収益力の増強」「外食事業の強化」を基本方針とし、業績の向上と経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、第1四半期連結累計期間の売上高は3,811百万円、営業利益は227百万円、経常利益は196百万円、四半期純利益は175百万円となりました。

なお、事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(1) ピザ関連事業

ピザ関連事業におきましては、主要原材料のチーズ、小麦粉、油脂等の価格は高止まりしており、販売競争の激化で販売価格は引き続き厳しい環境が続いております。この対応として、利益の薄いアイテムの見直しと自社製品の生産から販売に至る工程の効率化を図ってまいりました。

営業部門におきましては、「販売アイテムの整理」「重点製商品の拡充」を大胆に断行することで、収益の確保を図ってまいりました。

この結果、売上高は2,192百万円、営業利益は255百万円となりました。

(2) 外食事業

外食・中食事業（連結子会社2社を含む）におきましては、内部充実を基本政策として、既存店舗のオペレーション向上・人材の”磨き込み”を行うとともに、競争力のある立地の獲得と不採算店舗の整理によるスクラップアンドビルドを進めてまいりました。

この結果、売上高は1,610百万円、営業利益は124百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は9,433百万円となり、前連結会計年度末より437百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は7,406百万円となり、前連結会計年度末より563百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金と1年内返済予定長期借入金及び長期借入金が減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,026百万円となり、前連結会計年度末より126百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、1,296百万円となり、前連結会計年度末より531百万円の減少となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少及び減価償却費による資金の増加がありましたが、たな卸資産の増加、仕入債務の減少及び法人税等の支払などにより136百万円の資金減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得による資金の支出がありましたが、賃貸人都合による店舗閉鎖に伴う敷金保証金の返還や店舗立退補償金の入金で16百万円の資金減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として長期借入金の返済や社債の償還による支出の増加で、378百万円の資金減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年5月15日に公表いたしました平成21年3月期第2四半期連結累計期間及び第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。当該予想数値の修正に関する事項は、本日別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想(連結・個別)につきましては、平成20年5月15日公表のとおりであり、変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定的方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益と営業利益が8,430千円減少し、経常利益と税金等調整前四半期純利益は581千円減少しております。

また、当該基準の適用により、従来、営業外費用に計上しておりました「たな卸資産廃棄損」は、当第1四半期連結会計期間より売上原価に計上しております。

これにより、従来の方法に比べて、売上総利益と営業利益は7,849千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

	(単位：千円)	
	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,846,619	2,377,779
受取手形及び売掛金	1,704,733	1,847,777
商品	46,800	46,155
製品	330,391	333,202
原材料	553,005	370,863
貯蔵品	13,074	14,296
その他	216,293	130,657
貸倒引当金	△1,601	△1,389
流動資産合計	4,709,315	5,119,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,517,346	4,452,627
減価償却累計額	△2,690,769	△2,657,897
建物及び構築物(純額)	1,826,577	1,794,729
その他	3,316,214	3,311,612
減価償却累計額	△2,057,311	△2,018,151
その他(純額)	1,258,902	1,293,460
有形固定資産合計	3,085,480	3,088,190
無形固定資産	57,377	59,930
投資その他の資産		
敷金及び保証金	978,315	998,726
その他	619,939	621,978
貸倒引当金	△17,338	△17,757
投資その他の資産合計	1,580,916	1,602,947
固定資産合計	4,723,774	4,751,068
資産合計	9,433,089	9,870,411

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,204,085	1,340,068
短期借入金	1,525,626	1,608,457
未払法人税等	51,792	150,192
賞与引当金	53,512	96,005
その他	1,287,499	1,252,246
流動負債合計	4,122,515	4,446,970
固定負債		
社債	652,500	715,000
長期借入金	2,247,992	2,437,348
退職給付引当金	308,823	302,065
役員退職慰労引当金	8,422	3,520
その他	66,475	65,391
固定負債合計	3,284,212	3,523,325
負債合計	7,406,728	7,970,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	823,810	823,810
資本剰余金	1,043,603	1,043,603
利益剰余金	134,216	14,740
自己株式	△6,467	△6,456
株主資本合計	1,995,162	1,875,697
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,655	16,719
繰延ヘッジ損益	△1,760	△5,188
評価・換算差額等合計	18,895	11,530
少数株主持分	12,303	12,888
純資産合計	2,026,361	1,900,115
負債純資産合計	9,433,089	9,870,411

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位:千円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	3,811,519
売上原価	2,115,698
売上総利益	1,695,820
販売費及び一般管理費	
給料手当及び福利費	605,759
賞与引当金繰入額	44,111
退職給付費用	7,428
役員退職慰労引当金繰入額	5,202
貸倒引当金繰入額	282
その他	805,132
販売費及び一般管理費合計	1,467,916
営業利益	227,904
営業外収益	
受取利息	1,101
受取配当金	2,172
その他	3,796
営業外収益合計	7,070
営業外費用	
支払利息	29,622
その他	8,475
営業外費用合計	38,098
経常利益	196,876
特別利益	
受取補償金	26,512
特別利益合計	26,512
特別損失	
固定資産除却損	594
投資有価証券評価損	838
店舗閉鎖損失	2,558
特別損失合計	3,990
税金等調整前四半期純利益	219,398
法人税、住民税及び事業税	44,413
法人税等調整額	△437
法人税等合計	43,976
少数株主利益	215
四半期純利益	175,206

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	219,398
減価償却費	104,802
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,757
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,902
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△42,493
受取利息及び受取配当金	△3,274
支払利息	29,622
受取補償金	△26,512
売上債権の増減額 (△は増加)	143,043
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△178,753
仕入債務の増減額 (△は減少)	△135,983
その他	△107,600
小計	13,909
利息及び配当金の受取額	2,644
利息の支払額	△18,396
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△134,707
営業活動によるキャッシュ・フロー	△136,550
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△41,893
無形固定資産の取得による支出	△3,030
投資有価証券の取得による支出	△787
貸付金の回収による収入	3,362
敷金及び保証金の差入による支出	△4,346
敷金及び保証金の回収による収入	24,757
店舗立退による収入	8,274
その他	△2,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,396

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△40,000
長期借入金の返済による支出	△232,187
社債の償還による支出	△62,500
配当金の支払額	△43,107
少数株主への配当金の支払額	△800
自己株式の増減額 (△は増加)	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△378,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	341
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△531,210
現金及び現金同等物の期首残高	1,827,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,296,033

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	ピザ関連事業 (千円)	外食事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	2,192,473	1,610,380	8,665	3,811,519	—	3,811,519
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—
計	2,192,473	1,610,380	8,665	3,811,519	—	3,811,519
営業利益	255,880	124,343	789	381,013	(153,108)	227,904

(注) 1 事業の区分は、製品の種類・性質並びに使用目的及び市場の類似性を考慮して行っております。

2 各区分の主な内容

- (1) ピザ関連事業 …… ピザ事業及びエスニックブレッド製品等の製造・販売事業
- (2) 外食事業 …… 外食チェーン店及び寿司・弁当の宅配店舗の経営
- (3) その他の事業 …… 食品等の販売他

3 「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」②に記載のとおり、当社及び連結子会社は、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、ピザ関連事業で営業利益が8,430千円減少しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
該当事項はありません。

「参考資料」

(1) (要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額
I 売上高	3,937,581
II 売上原価	2,312,517
売上総利益	1,625,064
III 販売費及び一般管理費	1,522,931
営業利益	102,132
IV 営業外収益	
1 受取利息及び配当金	2,526
2 その他	18,414
営業外収益合計	20,940
V 営業外費用	
1 支払利息	32,470
2 その他	15,602
営業外費用合計	48,073
経常利益	74,999
VI 特別利益	
1 固定資産売却益	55
2 投資有価証券売却益	20,130
3 店舗立退補償金	26,174
特別利益合計	46,360
VII 特別損失	
1 固定資産除却損	45
2 店舗閉鎖損失	4,426
3 役員退職慰労金	13,500
特別損失合計	17,972
税金等調整前四半期純利益	103,388
法人税、住民税及び事業税	8,631
法人税等調整額	217
少数株主利益	△322
四半期純利益	94,861

(2) (要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	103,388
減価償却費	102,901
貸倒引当金の減少額	△626
退職給付引当金の増加額	7,500
賞与引当金の減少額	△28,990
受取利息及び受取配当金	△2,526
支払利息	32,470
固定資産除却損	45
固定資産売却益	△55
店舗立退補償金	△26,174
店舗閉鎖損失	4,426
投資有価証券売却益	△20,130
為替差損益	△11,989
持分法による投資損益	△533
社債発行費等償却	699
その他非資金支出	275
売上債権の増減額	△133,885
たな卸資産の増減額	△27,557
仕入債務の増減額	△246,140
未払消費税等の増減額	△21,328
その他	△63,947
小計	△332,178
利息及び配当金の受取額	2,419
利息の支払額	△24,037
法人税等の支払額	△35,196
営業活動によるキャッシュ・フロー	△388,991

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
区分	金額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△41,712
有形固定資産の売却による収入	605
無形固定資産の取得による支出	△300
投資有価証券の取得による支出	△1,055
投資有価証券の売却による収入	52,763
敷金保証金の差入れによる支出	△13,674
敷金保証金の返還による収入	31,018
貸付金の回収による収入	854
店舗立退による収入	34,899
店舗閉鎖による支出	△4,426
長期前払費用の取得による支出	△407
その他	△2,025
投資活動によるキャッシュ・フロー	56,537
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	215,010
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	△189,814
社債の償還による支出	△62,500
自己株式の取得・売却による収支	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	562,676
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	11,989
V 現金及び現金同等物の増減額	242,211
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,736,336
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,978,547

(3) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

【事業の種類別セグメント情報】

	ピザ関連事業 (千円)	外食事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	2,306,122	1,626,233	5,225	3,937,581	—	3,937,581
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,306,122	1,626,233	5,225	3,937,581	—	3,937,581
営業費用	2,170,703	1,520,586	5,516	3,696,806	138,642	3,835,448
営業利益	135,419	105,647	△291	240,775	(138,642)	102,132

【所在地別セグメント情報】

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

当社及び連結子会社は海外売上高がないため、記載を省略しております。

(4) (要約) 前四半期損益計算書

(単位:千円)

科 目	前第1四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
	金額
I 売上高	3,269,609
II 売上原価	2,176,899
売上総利益	1,092,710
III 販売費及び一般管理費	1,031,869
営業利益	60,841
IV 営業外収益	53,112
V 営業外費用	66,697
経常利益	47,255
VI 特別利益	46,360
VII 特別損失	17,965
税金等調整前四半期純利益	75,651
法人税、住民税及び事業税	7,166
四半期純利益	68,484